

科目分類	養護教諭・栄養教諭 資格関連科目			開講学科	看護学科 医療栄養学科																																							
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数																																							
14022	2	前期	選択	2	30																																							
授業科目名 (英文)	教職論 (Introduction to the Teaching Profession)																																											
担当教員名	豊田 英敏																																											
授業の概要及び到達目標																																												
<p>○授業の概要</p> <p>教職を志す者は教職に対する深い理解と教育に対する情熱・使命感と同時に、児童生徒理解に基づいた確かな指導力が求められる。そのためには、現代の教育課題に対して常に敏感であり、教育課題解決のための現状把握力・解決策の基礎的能力を学び、教職の意義や教員の役割、職務内容等についての基礎的知識理解を深める。具体的には、適宜教育現場での教育課題を提供し、グループ討議や全体で協議し実践的指導力の基礎を習得する。</p> <p>○到達目標</p> <p>教師（養護教諭・栄養教諭）としての職務内容の理解や、教師に求められる資質・能力について学ぶことにより、教育実践を支える基礎知識や様々な指導対応力を獲得することができる。更に、たえず自己を顧みる反省的教育実践家としての在り方を身に付けることができる。</p>																																												
準備学習等																																												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職を学ぶ心構えとして教育問題を注視し、たえず教育界の動向を見据え改善・対策の目で捉えておくこと。次の法律・施行令・施行規則を全て用意のこと。（憲法、教育基本法、学校教育法、教育公務員特例法、教育職員免許法、学校保健安全法/食育基本法、学校給食法）</li> <li>・配布資料をもとに事前に予習し、本時の学習に備えること。</li> <li>・テキストは、事前に関連部分を読み、要点をノートにまとめて理解しておくこと。（予・復習時間）</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 10%;">第1回</td> <td style="width: 80%;">資料(pp. 262-276) 関係法令に目を通す。</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>今まで出会った中で一番すばらしい教師のエピソードをA4一枚にまとめ、発表の準備をしておく。（まとめ方は第1回授業時に指示する）</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>テキストのコラムに出てくる作品に目を通しておく。（図書館にあり）</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>第9章 時代の中の教師(pp. 179-200)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>第1章 教師の日常世界へ(pp. 1-20)、関係法令に目を通す。</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>事後－特別講師の講義内容要約、感想等を提出のこと。</td> <td style="text-align: right;">2時間</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>第4章 カリキュラムをデザインする(pp. 71-83)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第8～10回</td> <td>第2章 授業をつくる(pp. 21-47)、 第3章 授業から学ぶ(pp. 49-69)</td> <td style="text-align: right;">2時間</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>第5章 子どもを育む(pp. 85-106)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>第6章 生涯を教師として生きる(pp. 107-131) 第7章 同僚とともに学校を創る(pp. 133-152)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>第8章 教職の専門性(pp. 153-178)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>第9章 時代の中の教師(pp. 179-200) 第11章 教育改革と教師の未来 (pp. 227-241)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>ノートの整理、「シャトルカード」の記入確認。</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> </tbody> </table>						第1回	資料(pp. 262-276) 関係法令に目を通す。	1時間	第2回	今まで出会った中で一番すばらしい教師のエピソードをA4一枚にまとめ、発表の準備をしておく。（まとめ方は第1回授業時に指示する）	1時間	第3回	テキストのコラムに出てくる作品に目を通しておく。（図書館にあり）	1時間	第4回	第9章 時代の中の教師(pp. 179-200)	1時間	第5回	第1章 教師の日常世界へ(pp. 1-20)、関係法令に目を通す。	1時間	第6回	事後－特別講師の講義内容要約、感想等を提出のこと。	2時間	第7回	第4章 カリキュラムをデザインする(pp. 71-83)	1時間	第8～10回	第2章 授業をつくる(pp. 21-47)、 第3章 授業から学ぶ(pp. 49-69)	2時間	第11回	第5章 子どもを育む(pp. 85-106)	1時間	第12回	第6章 生涯を教師として生きる(pp. 107-131) 第7章 同僚とともに学校を創る(pp. 133-152)	1時間	第13回	第8章 教職の専門性(pp. 153-178)	1時間	第14回	第9章 時代の中の教師(pp. 179-200) 第11章 教育改革と教師の未来 (pp. 227-241)	1時間	第15回	ノートの整理、「シャトルカード」の記入確認。	1時間
第1回	資料(pp. 262-276) 関係法令に目を通す。	1時間																																										
第2回	今まで出会った中で一番すばらしい教師のエピソードをA4一枚にまとめ、発表の準備をしておく。（まとめ方は第1回授業時に指示する）	1時間																																										
第3回	テキストのコラムに出てくる作品に目を通しておく。（図書館にあり）	1時間																																										
第4回	第9章 時代の中の教師(pp. 179-200)	1時間																																										
第5回	第1章 教師の日常世界へ(pp. 1-20)、関係法令に目を通す。	1時間																																										
第6回	事後－特別講師の講義内容要約、感想等を提出のこと。	2時間																																										
第7回	第4章 カリキュラムをデザインする(pp. 71-83)	1時間																																										
第8～10回	第2章 授業をつくる(pp. 21-47)、 第3章 授業から学ぶ(pp. 49-69)	2時間																																										
第11回	第5章 子どもを育む(pp. 85-106)	1時間																																										
第12回	第6章 生涯を教師として生きる(pp. 107-131) 第7章 同僚とともに学校を創る(pp. 133-152)	1時間																																										
第13回	第8章 教職の専門性(pp. 153-178)	1時間																																										
第14回	第9章 時代の中の教師(pp. 179-200) 第11章 教育改革と教師の未来 (pp. 227-241)	1時間																																										
第15回	ノートの整理、「シャトルカード」の記入確認。	1時間																																										

成績評価の方法	講義・協議への積極的参加態度（30%）、レポート課題における基礎的内容の理解度や自己の意見記述（30%）、最終確認レポート（40%）を総合し評価する。
テキスト	秋田喜代美・佐藤学編著『新しい時代の教職入門』有斐閣、2015年改訂 ・毎回事前に講義内容の資料を配布する。
参考図書	①市川須美子他編『教育小六法 2019年版』学陽書房 ②木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』有斐閣、2019年改訂
備考	授業は、看護学科・医療栄養学科ごとに別々に開講される。 オフィスアワーは desknet's の一覧を確認すること。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第1回：講義の趣旨説明「なぜ教職を目指すのか。」協議 講義の概要や計画を説明し「なぜ教職をめざすのか」を自由協議し、学習意欲をもつ。</p> <p>第2回：学校教育の現状と課題 課題レポートを基に、教育の喫緊の課題を把握し、その解決に向けてどのように実践していくことが重要なのかを学ぶ。</p> <p>第3回：教職の意義と役割 教職（養護教諭・栄養教諭）の意義と役割を講義や協議を通して学ぶ。</p> <p>第4回：教育関係法規（1） 憲法・教育基本法・学校教育法等について概要を学び、その中における教員（養護教諭・栄養教諭）の役割についてまとめる。</p> <p>第5回：教育関係法規（2） 学校保健安全法・食育基本法等の学校保健安全に関わる法的根拠を基に、教員（養護教諭・栄養教諭）の職務内容について協議を通して理解を高める。</p> <p>第6回：各等答申が求める教員（養護教諭・栄養教諭）の職務と資質 文部科学省答申・保健体育審議会答申から課題レポートを基に協議し学びを深める。</p> <p>第7回：教職の職務について（1）校種に応じた職務内容</p> <p>第8回：教職の職務について（2）学校保健安全面・チーム学校としての対応 学校保健安全・衛生管理の今日的課題を踏まえ、養護教諭・栄養教諭の職務内容を調べ、より良い対応と対策について協議し、その職務内容について確認する。</p> <p>第9回：教職の専門性について（学校組織体系の中でのマネジメント） 既習内容を基に養護教諭・栄養教諭の専門性について協議し、チーム学校・学校組織体系の中でマネジメントすることの重要性について学ぶ。</p> <p>第10回：教員の資質について（教員の資質とは何か） 自らの教師像を明確にして、教職に対する情熱や使命感を高める。</p> <p>第11回：教職における改革動向（中教審その他の答申等とその特徴）</p> <p>第12回：授業論 指導案作成における留意事項と実践</p> <p>第13回：新たな教員の職務（「発達障害」「食育指導」への対応）</p> <p>第14回：これからの学校教育と教職員の課題（自己の見解をまとめておく 協議）</p> <p>第15回：理想の学校と教師像（チーム学校として組織的な対応・理想の学校とは？）</p> <p>定期試験</p>	